

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編新しい社会歴史 7 2 9
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財を時代毎に表にまとめたり、テーマの決め方、考察やまとめ方のポイントを基に身近な地域を調べたりする活動 ・「古代までの日本」において、世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について道具、食べ物、生活の観点から違いをまとめたりする活動 ・「中世の日本」において、平氏の政治と摂関政治を比較して共通点や違いについて整理したり、室町時代の文化財を取り上げ、その文化財から分かる室町文化の特色を説明したりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について戦国大名の政策と比較してまとめたり、化政文化の特色について学問、文芸、絵画の分野毎に説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について日本に不利な点をまとめたり、第一次世界大戦の前後で欧米を中心としたどのような変化があったかを説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長のプラス面とマイナス面を説明したり、冷戦後の国際社会の動きについて対立と協調の二つの側面から説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「この時代の特色をとらえよう」において、時代を大きく動かした出来事を比較表や新聞、年表を用いてまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを短文で表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・分量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、容統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「歴史のとらえ方」は14ページ、「古代までの日本」は44ページ、「中世の日本」は34ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は37ページであり、総ページ数は271ページで、前回より約9%増となっている。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「蝦夷錦を着たアイヌの首長」の図版を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の写真を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史スキル・アップ」において、様々な歴史の学習の仕方を提示している。 ・「えんぴつマーク」において、具体的な作業や活動の仕方を提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「日本の国宝・重要文化財」、巻末に「各地の主な史跡」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	教育出版 中学社会歴史 未来をひらく 730
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した歴史上の人物の情報をまとめたカードをテーマ毎に整理したり、時代の分け方や年表の見方について確認したりする活動 ・「古代までの日本」において、世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について暮らしの共通点や違いなどをまとめる活動 ・「中世の日本」において、平氏の政治と摂関政治を比較して似ている点について整理したり、室町文化の中から現代に伝わるものを取り上げ室町文化の特色を説明したりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、元禄文化と化政文化の共通点や時代背景の違いについて説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について日本にとって不利な点をまとめたり、第一次世界大戦後に国際社会で起きた大きな動きをあげて大戦前との違いを説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長による産業構造の変化について説明したり、冷戦終結による国際社会の変化について対立と紛争の用語を使って説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「学習のまとめと表現」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については「歴史のとらえ方」は9ページ、「古代までの日本」は38ページ、「中世の日本」は34ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は104ページ、「現代の日本と世界」は32ページであり、総ページ数は261ページで、前回より約2%増となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「シャクシャインの像」の写真を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の写真を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「時代の変化に着目しよう」において学習を広げ深める課題を提示している。 ・「読み解こう」において、資料の読み取りや考察の仕方を提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「歴史のなかの言葉」、巻末に「各地の遺跡・史跡・できごと」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	清水書院 新中学校 歴史 日本の歴史と世界 731
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した歴史上の人物や出来事、時代毎の特色をYチャートを用いて考えたり、各時代の特色を示すキャッチコピーを作成し発表したりする活動 ・「古代までの日本」において、世界の古代文明についてそれぞれの特徴を整理したり、旧石器時代と新石器時代について衣食住や文化等の内容をまとめたりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代と奈良時代の人々の生活の様子を比較して違いについて整理したり、室町文化の中から、日本の伝統文化として現代にまで至るものをまとめたりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された語句を使ってまとめたり、化政文化の特色を文学、演劇、絵画、和歌・俳句の分野毎に説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後の世界の国際関係がどのように変わったのかを説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長の陰で発生した問題について説明したり、冷戦後も続いている対立や、新たな問題について説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「各章をまとめてみよう」において、時代の流れや文化の特色、世界との関係について年表で整理したり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については「歴史のとらえ方」は9ページ、「古代までの日本」は52ページ、「中世の日本」は32ページ、「近世の日本」は56ページ、「近代の日本と世界」は102ページ、「現代の日本と世界」は29ページであり、総ページ数は280ページで、前回より約1%増となっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「シャクシャインの像」の写真を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「札幌農学校」の写真を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「付箋マーク」において、図版などを読み取るためのヒントを提示している。 ・「深めよう」において、まとめ方や考え方のポイントを提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「世界の地図」、巻末に「日本の歴史的遺産」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	帝国書院 社会科 中学生の歴史 732
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、身近な地域の歴史について小学校で学習した歴史上の人物や遺跡・遺物、行事・風習等のテーマを設定し調査したり、調査結果をまとめて発表したりする活動 ・「古代までの日本」において、世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の変化の様子をまとめたりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代と奈良時代の人々の生活の様子を比較して共通点や違いについて整理したり、室町文化や当時の習慣の中で現在でも身近なものをまとめたりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、化政文化の特色を幕末に文字を読める人の割合から説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後に国際連盟が強い力をもてなかった理由を説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長によって現れてきた問題について説明したり、現代の時代の特色や冷戦終結による国際社会の変化について説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「学習をふりかえろう」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については「歴史のとらえ方」は11ページ、「古代までの日本」は38ページ、「中世の日本」は36ページ、「近世の日本」は52ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は28ページであり、総ページ数は263ページで、前回より約5%増となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「アイヌオムシャ」の図版を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵の出身地」の資料を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技能をみがく」において、レポートのまとめ方や発表の仕方を提示している。 ・「資料活用」において、資料を読み解く課題を提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「日本各地の伝統行事と祭り」、巻末に「日本地図の歴史」等を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 中学社会 歴史的分野 733
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう 次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した歴史上の人物や出来事から代表的なものを選びワークシートにまとめたり、調べ方のポイントを基に調べてまとめたことを発表したりする活動 ・古代までの日本」において、世界の古代文明について共通点や異なる点を整理したりする活動や、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の特徴をまとめたりする活動 ・「中世の日本」において、平氏の政治と摂関政治を比較して共通点と違いについて整理したり、室町文化が現在の生活にどのような形で残っているかを説明したりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、元禄文化と化政文化の違いを時代背景を踏まえて説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後のヨーロッパとアジアの動きを比較し、世界の変化について説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長による国民生活の変化について説明したり、現代の時代の特色について、冷戦後の国際社会の動きと日本のかわりを説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については 「学習の活用」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・ 分量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「歴史のとらえ方」は8ページ、「古代までの日本」は44ページ、「中世の日本」は38ページ、「近世の日本」は50ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は36ページであり、総ページ数は274ページで、前回より約4%増となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、シャクシャインの戦いの関係図の図版を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の図版を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読み取ろう」において、図版の内容を読み取る視点を提示している。 ・「スキルup」において、系図の見方や発表の仕方を提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「国県対照と五畿七道」、巻末に「主なできごと・史跡・関係地」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	自由社 中学社会 新しい歴史教科書 737
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した歴史上の人物についてカードや伝記にまとめたり、身近な地域の歴史の調べ方のポイントを基に調べ学習の結果を発表したりする活動 ・「古代までの日本」において、世界の古代文明についてそれぞれの特徴を整理したり、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の変化の様子をまとめたりする活動 ・「中世の日本」において、平氏の政治と摂関政治を比較して共通点について整理したり、室町時代の文化財を取り上げ、そこから分かる室町文化の特色を説明したりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った改革や政策を発表したり、化政文化の特徴を大衆が広く様々な情報を受け取った手段を視点として説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について問題点をまとめたり、ベルサイユ条約による第一次世界大戦後の処理の問題点を説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長について指定されたキーワードを入れて説明したり、共産主義が崩壊した理由と冷戦終結の過程について説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「章のまとめ」において、時代の特色を「ひとこと」作文にまとめたり、それぞれの時代の特徴的な出来事の背景等についての意見交換をしたりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については「歴史のとらえ方」は18ページ、「古代までの日本」は56ページ、「中世の日本」は28ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は29ページであり、総ページ数は273ページで、前回より約4%増となっている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「松前藩とアイヌの人々との交易の儀式を復元した模型」の写真を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の図版を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史を学んで」において、様々な歴史の学習方法を提示している。 ・「もっと知りたい」において、単元の学習を広げ深める課題を提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「日本の伝統的工芸品」、巻末に「年号と西暦の早見表」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	育鵬社 新しい日本の歴史 7 3 5
取 扱 内 容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した歴史上の人物について情報をカードにまとめて整理したり、身近な地域についてテーマを設けて調査したりする活動 ・「古代までの日本」において、世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の変化の様子をまとめたりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉幕府の仕組みと古代の律令政治の仕組みを比較して違いについて整理したり、室町文化の中で現在の暮らしに生きているものをまとめたりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された語句を使ってまとめたり、化政文化の特色を文学、俳諧、芸術、美術の代表的な人物をあげて説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後にロシア、ヨーロッパ、アメリカの様子から世界はどのように変わったのかを説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長による日本の経済や国民生活の変化について説明したり、冷戦後の地域紛争の様子とグローバル化の進展について説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「学習のまとめ」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、キャッチフレーズにまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを話し合ったりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内 容 の 排 列 ・ 構 成 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方を学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「歴史のとらえ方」は8ページ、「古代までの日本」は52ページ、「中世の日本」は32ページ、「近世の日本」は54ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は33ページであり、総ページ数は277ページで、前回より約11%増となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「アイヌ・オムシャ」の図版を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の図版を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題学習」において、調査の仕方やまとめ方を提示している。 ・「歴史にズームイン」において、学習を広げ深める課題を提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「日本の美」、巻末に「各地の主な遺跡・史跡」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

社会科（歴史）調査研究報告書

書名 観点	学び舎 ともに学ぶ人間の歴史 738
取扱内容	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した歴史上の人物や出来事から代表的なものを選びカードにまとめたり、年代の表し方、時代の区切り方について確認したりする活動 ・「古代までの日本」において、世界の古代文明についてそれぞれの特徴を整理したり、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の変化をまとめたりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代と奈良時代の人々の生活の様子を比較して違いについて整理したり、室町文化の中から、日本の伝統文化として現代にまで至るものをまとめたりする活動 ・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、化政文化の特色を文学、美術の代表的な人物をあげて説明したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後にロシア、アメリカ、ヨーロッパなどがどのように変化したのかを説明したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長による国民生活の変化について説明したり、冷戦終結による国際社会の変化について冷戦後の紛争・戦争を取り上げ説明したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「部のまとめ」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、歴史のとらえ方において、歴史の学び方を学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「歴史のとらえ方」は6ページ、「古代までの日本」は46ページ、「中世の日本」は32ページ、「近世の日本」は56ページ、「近代の日本と世界」は112ページ、「現代の日本と世界」は38ページであり、総ページ数は290ページとなっている。（判型はA4判）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「アイヌの首長・ツキノエ」の図版を取り上げている。 ・江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「松浦武四郎がつくった蝦夷地の地図」の写真を取り上げている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習課題」において、課題設定の仕方を提示している。 ・「歴史を体験する」において、具体的な作業や活動の仕方を提示している。 <p>○ 学習を深めることができるよう、巻頭に「世界の歴史地図」、巻末に「日本の歴史地図」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	